

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 46

2011年10月18日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

■□

□ I J R C 創立 20 周年特別寄稿 -7-

—静岡大学イノベーション共同研究センター [IJRC]

(旧：地域共同研究センター)は2011年4月に20周年を迎えました—

【20周年記念式典】2011年11月25日（金）13：30～

「産学官連携の新時代」

平成12年頃からの産学間連携の高度成長時代とは違って、学内外ともに大変厳しい状況の中で活動を発展させていくことは、予算の潤沢な少数大学を除いてどの大学にとっても難事であることと推測している。

静岡大学にとっては、地域との密接な連携とともに、知財活用や共同研究などできるだけ広域的な連携活動にも尽力してきたことは、昨今の資金欠乏の時代にさらなる重要性が増していることと考えている。このような時代には、時代に即した新たな知恵が必要となろう。例えば、産学連携活動の費用対効果を見直し、少ない資金の配分方法の再考や、活動方法自体も見直してみるなど。また、研究のシーズの有用性や産学連携への発展性を見極めなど、目利きのさらなる精度が重要であろう。

産学官連携活動に関わる現役の人々の尽力に期待している。

(記：第4代センター長 [平成12～17年度] 岡本尚道)

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「オプトロニクスフェア2011in浜松
浜松・東三河地域オプトロニクス産業総合展示会」ご案内
2. 「第69回『産学官交流』講演会・交流会」ご案内
3. 「産学官マッチング会in浜松」ご案内
4. 「JST産学官連携お役立ちポータルサイト説明会」ご案内
5. 静岡大学「第10回アントレプレナー講演会」ご案内
6. 「Technology Hunting in 沼津」ご案内
7. 静岡大学・中日新聞連携講座「3.11以降をどう生きるか」ご案内

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

-
1. 「オプトロニクスフェア2011in浜松
浜松・東三河地域オプトロニクス産業総合展示会」ご案内

日程 2011年10月19日（水）～21日（金）

会場 アクティシティ浜松 展示イベントホール第1・2・3ブロック

プログラム

10/19（水）13：00～17：00 展示会

14：00～15：00

基調講演「地域と光産業の発展を願って」

浜松ホトニクス(株)代表取締役社長 晝馬明氏

17：30～18：30 交換会

10/20 (木) 10:00~17:00 展示会
10:00~16:30 成果発表&企業商品紹介
14:00~15:00
特別講演「産業用画像処理分野の現状と今後の動向」
日本インダストリアルイメージング協会
代表理事 岡 茂男 氏

10/21 (金) 10:00~16:00 展示会
10:00~15:00 成果発表&企業商品紹介

主催 文部科学省、(財)浜松地域テクノポリス推進機構
参加費 無料 (交流会のみ2000円)
詳細/申込 <http://www.optronics-cluster.jp/info/fair2011.html>
問合せ先 浜松地域テクノポリス推進機構オプトロニクスクラスター本部
TEL 053-489-9111 E-mail optronics-cl@hamatech.or.jp

2. 「第69回『産学官交流』講演会・交流会」ご案内 —未だに消えない大震災の爪あと 地震・放射能や防災を考える—

日時 2011年10月28日(金) 17:00~18:30(交流会18:30~19:30)
会場 静岡商工会議所清水事務所3階 静岡市清水区相生町6-17
(交流会 清水事務所7階 産学交流サロン)
主催 静岡市清水産業・情報プラザ(指定管理者:静岡商工会議所)
共催 新産業開発振興機構
内容 ■講演
テーマ「静岡地域の防災活動」
①「地域に根ざした防災の研究」
静岡大学理学部理学部長・防災センター長 教授 増田俊明氏
②「地震と放射能」(仮題)
静岡大学理学部附属放射化学研究施設長 教授 奥野健二氏
参加費 無料(交流会 1,000円)
詳細/申込 <http://www.nio-s.net/seminar/2011/20111028.html>
問合せ先 静岡商工会議所 新産業課(担当:相磯、小堺)
静岡市清水区相生町6-17
TEL:054-355-5400 FAX:054-340-5117
mail:info2@nio-s.net

3. 「産学官マッチング会in浜松」ご案内

本マッチング会は、事前に地域産業界にアンケート調査を行い地域のニーズを集約してそれを発表に反映させることで、従来行われていた「大学等が選んだ研究成果をご紹介する場」から一歩進んで、「地域産業界の皆様のご要望にあわせた研究成果をご紹介する場」として企業ニーズと大学等シーズのマッチングを促進するものです。

日時 2011年11月4日(金) 10:00~14:00
会場 オークラアクトシティホテル浜松4階 平安の間
プログラム
1. 吉田 昌史 (静岡理工科大学理工学部機械工学科)
安価な窒素を利用したアルミニウム・チタンの高機能化プロセス開発
2. 志智 亘 (浜松工業技術支援センター)
プラスチック内部の残留応力や歪みを非破壊で可視化することにより破壊等の不具合の発生を未然に予知
3. 阿部 紀里子 (浜松医科大学コーディネーター)
エバネッセント光により励起された血中の蛍光物質をヘモグ

4. 針幸 達也 (浜松工業技術支援センター)
ロビンの影響なく検出・定量する技術
生産工程現場の情報を解析し、効率的で安定した生産工程の
提案や新製品・新技術の開発を効率的かつ斬新な手法で支援
5. 大橋 剛介 (静岡大学 工学部電気電子工学科)
手書きスケッチによる画像検索技術
6. 鹿内 佳人 (静岡理工科大学理工学部機械工学科)
画像による移動ロボット誘導・制御
7. 近藤 満 (静岡大学機器分析センター)
溶解している有害陰イオンをカプセル骨格型分子に取り込んで、
沈殿として除去する技術
8. 岩村 武 (静岡県立大学環境科学研究所)
緑茶抽出物を利用し3.26~20.86 μ m程度の孔径を有するマク
ロポーラスな材料を低温(60 $^{\circ}$ C)かつ簡便な方法で合成
9. 平井 浩文 (静岡大学農学部応用生物化学科)
バイオ燃料の原料となる木材に含まれるリグニンの微生物に
よる処理技術
10. 高木 誠 (富士工業技術支援センター)
耐久性に優れる非粘着性コーティング

参加費 無料
主催 浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会
東海イノベーションネットワーク(東海iNET)
静岡技術移転合同会社(静岡TTO)
浜松地域テクノポリス推進機構
詳細/申込 <http://stto.jp/> →新着情報をご覧ください
問合せ先 承認TLO 静岡技術移転合同会社(静岡TTO)
TEL 053-415-9109 E-mail ip-leaf@stto.jp

4. 「JST産学官連携お役立ちポータルサイト説明会」ご案内

日時 2011年11月4日(金) 15:00~17:00
会場 オークラクトシティホテル浜松4階 平安の間
内容 ○「産学官の道しるべ」
松本 葵(JST産学連携展開部)
○「科学技術コモンズ」
「研究成果展開総合データベース(J-STORE)」
笹月俊郎(JST知的財産戦略センター)
○「科学技術総合リンクセンター(J-GLOBAL)」
日高真子(JST情報提供部)

参加費 無料
定員 120名
申込締切 10月31日(月)
主催 科学技術振興機構、東海iNET、静岡TTO、
静岡大学イノベーション共同研究センター
詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>
問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター
TEL 053-478-1416
E-mail jst-portal@cjrr.shizuoka.ac.jp

5. 静岡大学「第10回アントレプレナー講演会」ご案内

『危機をチャンスに!!!』
~危機克服から生まれた「ものづくり」経営
《低公害車CVCCの開発秘話》~

日時 2011年11月10日(木) 15:00~16:50(講演会)
17:00~18:00(交流会)
会場 静岡大学 浜松キャンパス 佐鳴会館
対象 中小・ベンチャー企業経営者・技術者、一般(学生・社会人等)
主催 静岡大学イノベーション共同研究センター
共催 浜松工業会 静岡大学イノベーション共同研究センター協力会
後援 文部科学省 経済産業省 関東経済産業局
中小企業基盤整備機構 関東支部 静岡県
しずおか産業創造機構 浜松市 浜松商工会議所
浜松地域テクノポリス推進機構 三菱UFJキャピタル
静岡銀行 清水銀行 静岡県信用金庫協会 浜松信用金庫

<講演者>

本田技研工業株式会社 社友 石津谷彰氏(元 同社 常務取締役)

<内容>

本田技研および本田技研関連企業に於いて研究開発・生産等の分野で経営手腕を発揮された講師が、約35年に亘る在任中に直面した代表的な4つの企業危機を紹介します。そしてそれぞれをどのようなチャレンジで克服してきたか、そのチャレンジはその後の企業発展にどのように役立ったかなどを実体験に基づいて故本田宗一郎氏とのエピソードを交えながら、現在の厳しい経営環境を乗り切るベンチャー企業・中小企業の必須行動について提言します。

参加費 講演会・交流会ともに無料

詳細 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no85.html>

問合せ・事前申込先

静岡大学イノベーション共同研究センターベンチャー経営支援部門

〒432-8561 浜松市中区城北3丁目5-1

TEL 053-478-1713 E-mail antre@cjr.shizuoka.ac.jp

6. 「Technology Hunting in 沼津」ご案内

本会は、従来行われていた「大学等が選んだ研究成果をご紹介する場」から一歩進んで、「地域産業界の皆様のご要望にあわせた研究成果をご紹介する場」として企業ニーズと大学等シーズのマッチングを促進するものです。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 2011年11月10日(木) 10:00~15:00

会場 アンジェ・ヴィラージュ ブケ東海 1階フェニーチェホール

プログラム

1. 鄭 萬溶 (沼津高専電子制御工学科)
非線形振動解析と振動特性の把握による振動対策に関する技術
FFT, STFT, Wavelet解析等の信号処理技術による解析および分析
2. 高木 誠 (富士工業技術支援センター)
耐久性に優れる非粘着性コーティングで、従来フッ素樹脂が利用
出来なかった部分への適用が可能
3. 岩村 武 (静岡県立大学環境科学研究所)
緑茶抽出物を利用したマクロポラス有機-無機ハイブリッド材
料の合成
緑茶抽出物を利用し3.26~20.86 μm程度の孔径を有するマクロ
ポラスな材料を低温(60°C)かつ簡便な方法で合成
4. 平井 浩文 (静岡大学農学部応用生物化学科)
白色腐朽担子菌を用いた、バイオレメディエーション
5. 小野寺 雄一郎 (浜松医科大学コーディネーター)
心不全時のインスリン抵抗性心筋細胞を忠実に再現したexvivoシ

6. ステムで、心不全代謝改善薬のスクリーニングに有効な技術
小野寺 雄一郎 (浜松医科大学コーディネーター)
 7. 脳卒中や腸炎を誘発する高病原性口腔細菌の高感度検出技術
小野寺 雄一郎 (浜松医科大学コーディネーター)
 8. PAR γ 阻害剤を用いた腹部大動脈瘤の内科的予防・治療技術
〔成功すれば医療業界において初となる内科的技術〕
針幸 達也 (浜松工業技術支援センター)
 9. 生産工程現場の情報を解析し、効率的で安定した生産工程の提案
や新製品・新技術の開発を効率的かつ斬新な手法で支援
志智 亘 (浜松工業技術支援センター)
 10. プラスチック内部の残留応力や歪みを非破壊で可視化することにより
破壊等の不具合の発生を未然に予知
岡島 いづみ (静岡大学 工学部物質工学科)
- CFRP廃棄物のリサイクル技術
バイオマス系廃棄物、プラスチック廃棄物の気体燃料化技術、
粉末燃料化技術

参加費 無料

主催 静岡技術移転合同会社 (静岡TT0)

東海イノベーションネットワーク (東海 i NET)

詳細/申込 <http://stto.jp/> →新着情報をご覧ください

問合せ先 承認TLO 静岡技術移転合同会社 (静岡TT0)

TEL 053-415-9109

E-mail match2011@ocjr.shizuoka.ac.jp

7. 静岡大学・中日新聞連携講座 ご案内

「3.11以降をどう生きるか～地域の再生と絆づくりのために～」

震災やその後の余震、電力不足など、震災後に顕在化した問題の中で地域社会のあり方を再び見つめなおそうとする姿勢が求められてきています。

静岡大学の教員のそれぞれの専門テーマを切り口として、現在の地域社会における問題を解き明かしていきましょう。

【第2回】

日時 2011年11月12日 (土) 14:00～16:00

会場 静岡大学浜松キャンパス 総合研究棟3階33講義室

講演 「強い絆創りで地域を元気にする
～社会起業家『ブリッジパーソン』の役割～」

講師 相原憲一氏 (静岡大学客員教授)

【第3回】

日時 2011年12月10日 (土) 14:00～16:00

会場 アクトシティ浜松 研修交流センター4階401会議室

講演 「東日本大震災を起こした地震とその影響
～『大地動乱の時代』をどう生きるか～」

講師 小山真人 (静岡大学教育学部教授、防災総合センター副センター長)

【第4回】

日時 2012年1月17日 (土) 14:00～16:00

会場 アクトシティ浜松 研修交流センター6階62研修交流室

講演 「東日本大震災と災害ボランティア活動
～山元町の写真洗浄・複写プロジェクトより～」

講師 吉田 寛 (静岡大学情報学部准教授)

【第5回】

日時 2012年2月18日(土) 14:00~16:00
会場 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館会議室
講演 「地域の絆でリスク社会を乗り越える」
講師 岡田安功(静岡大学情報学部教授)

参加費 無料
定員 各回50人
主催 静岡大学地域連携協働センター、中日新聞東海本社
詳細/申込 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/kouza00074.html>
問合せ 静岡大学生涯学習教育研究センター
TEL 054-238-4817 E-mail LLCOipc.shizuoka.ac.jp

《 静大ラボ紹介 -31- 》

工学部機械工学科 岩田 太 教授
<http://tf2a14.eng.shizuoka.ac.jp/index.html>

岩田研究室ではナノテクノロジーを担う超精密技術として精密工学や応用光学を中心にプローブ顕微鏡などの精密機器開発に取り組んでいます。特に“マイクロ～ナノスケールでの物づくり”に関する基礎研究から工業技術への応用を目指し、微小領域において、ただ物を「見る」技術のみでなく、「切る・削る・溶かす」や「組立てる」技術としてのナノエンジニアリングツールの研究開発が行われています。小さなモノの加工、計測及び操作はマイクロマシン、ナノマシン、ナノエレクトロニクス、高密度メモリといった理工学分野やバイオなど広い応用が期待されています。

オプトロニクスフェア2011in浜松(10/19~21)では、知的クラスター事業の最近の成果として共同開発企業から「マイクロ4端針薄膜抵抗測定装置の開発」が報告されます。

小さな世界の測定・加工から、摩擦・摩耗・潤滑の本当のメカニズムを追求するマイクロトライボロジーを極める研究から様々な産業への展開が楽しみです。

【研究分野】精密機器、微細加工、プローブ顕微鏡開発

【研究キーワード】近接場光学顕微鏡 走査型プローブ顕微鏡
原子間力顕微鏡 走査型トンネル顕微鏡
ナノスケール計測 マニピュレーター

(記: 知財コーディネーター 出崎一石)

《 みんなのコラム -46- 》

私の初期の研究内容は、光の点の物理的な運動とこの光点を見る人の行為との関係に関するもので、産学連携からは程遠い地道なものであった。しかし、10年以上経過した後に、液晶テレビの「動きぼけ現象」の理解に繋がる研究として見直された。私にとって大きな転機は、文部科学省が浜松地域を指定した知的クラスター創生事業の一テーマとして平成14年から5年間参画したことで訪れた。

忠実色再現を実現する画像システムについての本研究課題については、3ヶ月毎の研究目的、クラスター本部要員を交えた毎月の研究打合せ、毎年外部で開催される研究報告会、その他にも各種イベントが計画されていた。従来と比して大きな経費を使用した、それなりにハードな期間であった。良く耳にする様に、数社の関連企業との研究開発方針と、学生の研究方向が必ずしも一致しない。よって、結論が比較的短期間で出やすい課題と数年かかる課題を織り交ぜ、何らかの成果が定期的に得ら

れることを目標にし、学会発表、特許出願に結びつくよう努力した。産学連携のポイントがここに有ると思う。この間に、企業、官庁、学会などの多数の方と交流を持ち、また多くの方のご支援を頂いた。これら全てが私の貴重な財産になった。現在はこれら成果を有効に社会還元するために、忠実色再現画像システムの標準化に向けて活動を続けている。皆様の一層のご支援をお願いする次第である。

(記：創造科学技術大学院 教授 下平美文)

《 編集後記 》

今月9日、浜松で『子どもたちの個性をのばす、浜松のこれからの教育を考える』と題して人材育成教育フォーラムが開催されました。

和田昭允先生（横浜サイエンスフロンティア高等学校スーパーアドバイザー）の「知識を得たら自分で結びつけ智恵として自分で使う“智のラセン階段”」というお話、疋田範子先生（ピアノ講師）の「考えることが自然体となるように、いっぱい考えて“一を聞いて十考える”ように」というお話では“考える”ことの偉大さを改めて思いました。

この「ひとりひとりの“得意”を伸ばす教育システムの確立」を目指す浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション戦略推進協議会人材育成教育チームの活動にも、静岡大学は主体的に取り組み、地域との連携を推進しています。

* — *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。（↑送付の際は〇欄に@を入れてください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター（IJRC）

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* — *

Copyright(c)2008-2011 Innovation and Joint Research Center, Shizuoka University. All rights reserved